

大臣確認を行った拡散防止措置の実績
H29.12.18版

会合開催日時	議題、審議案件等	使用する主な遺伝子組換え生物等				大臣確認を要する主な理由 (二種省令別表第1)	拡散防止措置の区分	左記の拡散防止措置を執った理由
		宿主の名称及び実験分類	核酸供与体並びに供与核酸の名称及び実験分類	ベクター	遺伝子組換え生物の特性と使用の態様			
第114回 (H29.7.6)	組換えZikaウイルスワクチンの開発(バイオコム株式会社)	hPIV2(クラス2) 大腸菌(クラス1)	Zikaウイルス,prM/E遺伝子(クラス未分類) hPIV2,F遺伝子、マウスマリア,CSP遺伝子(クラス2)	pUC118	大腸菌及びhPIV2について、Zikaウイルス等に由来する遺伝子を導入した組換え大腸菌及びhPIV2を作製する。また、組換えhPIV2については、培養細胞及び動物に感染させることで、その性状解析を行う。	1-イ 3-イ	P2 P2A	宿主および核酸供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。
	インフルエンザの霊長類感染モデルにおける研究(第二期) (京都大学)	インフルエンザウイルス(クラス2およびクラス3)	インフルエンザウイルス・cDNA(クラス2およびクラス3)		組換えインフルエンザウイルスを作製し、培養細胞およびサルに当該ウイルスを接種することで、性状解析を行う。	1-ヘ	P2 P3 P3A	宿主および拡散供与体の実験分類等を考慮してP2、P3、P3Aの拡散防止措置を執る。
	光合成能を強化した葉緑体形質転換ジャガイモの特定網室における栽培試験(筑波大学)	ジャガイモ(クラス1)	ラン藻・fbp/sbp(クラス1)、大腸菌aadA(クラス1)	pUC19-addA-fbp/sbp	各種外来遺伝子を導入し、葉緑体の形質転換を行った組換えジャガイモ及び当該ジャガイモを穂木として接ぎ木した非組換えジャガイモを特定網室において栽培することで、その性状解析を行う。	4-ロ	特定網室	作成される遺伝子組換え生物の性質を考慮して特定網室の拡散防止措置を執る。
その他、申請者の希望により、非公表が7件。								

第115回 (H29.9.28)	レポーター遺伝子を導入した組換えサフォードウイルスの作製を通じたサフォードウイルス感染機構の解明 (金沢医科大学)	サフォードウイルス(クラス2)、大腸菌、(クラス1)	サフォードウイルス・cDNA(クラス2)、オワンクラゲ等・GFP(クラス1)	pBluescript II SK(-)	サフォードウイルスにレポーター遺伝子を導入し、培養細胞へ感染させ性状解析を行う。	1-へ	P2	宿主および拡散供与体の実験分類等を考慮してP2の拡散防止措置を執る。
	枯草菌、および、好熱性細菌をもちいたメタゲノムライブラリーの構築とスクリーニング (神戸大学)	枯草菌(クラス1)、好熱性細菌(クラス1)	環境サンプルの存在する微生物(クラス1又はクラス2)	pBR322、pUB110、pUCG18	環境中からゲノムDNAを抽出し、枯草菌や好熱性細菌を宿主とするメタゲノムライブラリーを構築し、有用遺伝子を取得する。 なお、枯草菌Marburg168株を使用して直接ゲノムに導入する場合、認定宿主ベクター系の範疇に入り、機関承認実験と判断されました。	大臣確認に該当しない。	P1 P2	宿主および拡散供与体の実験分類等を考慮してP1、P2の拡散防止措置を執る。
	A型肝炎ウイルス複製機構の解析 (東京都医学総合研究所)	A型肝炎ウイルス(クラス2)、大腸菌、(クラス1)	A型肝炎ウイルス・cDNA(クラス2)、脳心筋炎ウイルス・IRES(クラス2)、オワンクラゲ等・GFP(クラス1)	pBR322,pUC18,pUC19,pUC118,pUC119,pBluescript,pGEM,pTOPO,pCINA,pCAGGS,pHW2000,pHH21	A型肝炎ウイルスにレポーター遺伝子や薬剤耐性遺伝子等を導入し、培養細胞へ感染させ性状解析を行う。	1-へ	P2	宿主および拡散供与体の実験分類等を考慮してP2の拡散防止措置を執る。

	フィロウイルス等の遺伝子断片cDNAの増幅 (北海道大学)	MMLV(クラス2) 大腸菌、バキュロウイルス(クラス1)	エボラウイルス・マールブルグウイルス・ラッサウイルス・クリミア・コンゴウイルス・cDNA(クラス4)、クエヴァウイルス・cDNA(クラス未分類)、キタアメリカホタル等・ルシフェラーゼ等(クラス1)	pBR322の誘導體、pACYC177の誘導體、pUCの誘導體、pSinRep5の誘導體	フィロウイルス(エボラ、マールブルグ、クエヴァウイルス)、ラッサウイルス及びクリミア・コンゴ出血熱ウイルスの遺伝子断片を含むプラスミドを増幅・精製し、蛋白質遺伝子やその機能を解析する。	1-イ 1-ロ	P2	宿主および拡散供与体の実験分類等を考慮してP2の拡散防止措置を執る。
	ペスチウイルスの宿主特異性及び病原性に関する因子の特定(第2版) (北海道大学)	豚コレラウイルス(クラス3)、牛ウイルス性下痢ウイルス、ボーダー病ウイルス(クラス2)、大腸菌、(クラス1)	豚コレラウイルス・cDNA(クラス3)、牛ウイルス性下痢ウイルス・cDNA、ボーダー病ウイルス・cDNA、脳心筋炎ウイルス・IRES(クラス2)、オワンクラゲ等・GFP(クラス1)	pCR2.1、pGEM T-Easy、pACYC117、pBeloBAC11	ペスチウイルスのcDNAに各種変異を導入し、培養細胞、ウサギ及び豚へ感染させ性状解析を行う。	1-ハ 1-ヘ 3-イ	P2 P3 P3A	宿主および拡散供与体の実験分類等を考慮してP2、P3、P3Aの拡散防止措置を執る。
その他、申請者の希望により、非公表が3件。								
第116回 (H29.12.18)	遺伝子組換えによるジカウイルス変異体の産生とその性状解析 (国立感染症研究所)	ジカウイルス(クラス2)、大腸菌(クラス1)	ジカウイルス・cDNA、ヒトサイトメガロウイルス・プロモーター、D型肝炎ウイルス・リボザイム配列(クラス2)	pMW119	構造蛋白質コード領域等に変異を導入したジカウイルスを培養細胞、マウス及びサルに感染させ性状解析を行う。	1-イ 1-ヘ 3-イ	P2 P2A	宿主および拡散供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。

<p>ハートランドウイルスの膜糖蛋白質、核蛋白質、非構造蛋白質及びポリメラーゼ蛋白質cDNAを用いた実験室診断法の開発 (国立感染症研究所)</p>	<p>大腸菌、バキュロウイルス(クラス1)</p>	<p>ハートランドウイルス・cDNA(クラス未分類)</p>	<p>pGEM-T easy、pUC57、pSMART-cDNA、pTargetT、pATX-MCS4、pCI-neo、pKS336、pCAGGS、pcDNA3.1、pAcYM1、pVL1392、pVL1393、pAcCAG、pGEX2T、pQE30、pQE31、pQE32、pET-43.1a-c(+)</p>	<p>ハートランドウイルスの各遺伝子を培養細胞、昆虫細胞及び大腸菌で発現させ性状解析を行う。</p>	<p>1-イ</p>	<p>P2</p>	<p>宿主および拡散供与体の実験分類等を考慮してP2の拡散防止措置を執る。</p>
<p>組換え単純ヘルペスウイルス(H129株)による野生型およびCreまたはThymidine kinaseを発現するトランスジェニックゼブラフィッシュへの遺伝子導入 (理化学研究所)</p>	<p>単純ヘルペスウイルス(クラス2)、ゼブラフィッシュ、大腸菌(クラス1)</p>	<p>単純ヘルペスウイルス・cDNA(クラス2)</p>	<p>pUS-F5、pVCL</p>	<p>単純ヘルペスウイルスにレポーター等の遺伝子導入や増殖制限型を導入し、ゼブラフィッシュに感染させ性状解析を行う。</p>	<p>1-ヘ 3-イ</p>	<p>P2 P1A P2A</p>	<p>宿主および拡散供与体の実験分類等を考慮してP2、P2Aの拡散防止措置を執る。</p>
<p>その他、申請者の希望により、非公表が4件。</p>							